

あわら市を紹介します

▶あわら市の概要

《農業と観光のまち》

2004年3月1日に、坂井郡芦原町と金津町が合併し誕生。福井県の最北端に位置。基幹産業は農業と芦原温泉を中心とする観光業。北陸自動車道金津ICは県の北の玄関口で、周辺工業団地には優良な製造業が集まっています。

《芦原温泉》

明治期に発掘された温泉観光地。関西・中京の奥座敷と呼ばれ、北陸屈指の名湯。「湯めぐり手形」の発行や人とのふれあいと地産地消をテーマとした9店舗の屋台村を開設するなど、芦原温泉郷を中心とした商業・観光の発展施策を積極的に進めています。

《農業》

平坦部は良質米の産地であるほか、北部丘陵地でスイカ・メロン・トマトなどのハウス栽培や平核無柿（種無し柿）の栽培が盛んです。ミディトマト「越のルビー」や「越前柿」のブランド化等、農産物の高付加価値化に取り組んでいます。



香美市からJRで5時間30分
土佐山田駅～芦原温泉駅
自動車では約6時間30分
南国IC～金津IC下車

人口 30,845人
(H21.1.1 現在住民基本台帳)
世帯数 9,832世帯
面積 116.99km²
特産品 メロン、すいか、甘藷、越前柿
越のルビー
姉妹都市 中国紹興市、香美市



▶観光

藤野巖九郎記念館



この記念館は、昭和58年芦原町と中国の浙江省紹興市との間で締結された友好都市を記念して、藤野家遺族から三国町にあった旧宅を寄贈されたもので、芦原温泉開湯100周年記念祭の昭和59年7月に「藤野巖九郎記念館」として移築・開館しました。藤野氏は中国の文豪魯迅の恩師。

【問い合わせ先】企画課 ☎53-3114



あわら北潟湖畔観月の夕べ アイスブリッジと花火

北潟湖畔花菖蒲園



300種20万本の花菖蒲が植えられ、6月上旬から約1カ月間訪れる人を魅了します。また毎年6月中旬頃「花菖蒲まつり」が行われ、郷土芸能・地元特産品の名産市・湖上遊覧などのイベントが行われます。

祝 姉妹都市盟約調印式

交流の想い 新たに 姉妹都市締結



写真左から、香美市議会議長・香美市長・橋本達也あわら市長・東川継央あわら市議会議長

3月1日、香美市と福井県あわら市の姉妹都市盟約調印式が福井県あわら市役所で行われました。香美市からは門脇榎夫市長・中澤愛水議会議長・西山武香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会会長・担当職員の4名が出席し、調印式の後、あわら市観光会館で開催された「あわら市誕生5周年記念式典」へ出席しました。



調印式では、記念品交換が行なわれ、香美市から「土佐打刃物くじらナイフ」あわら市からは「越前竹人形」が贈られました。

姉妹都市締結の経緯
昭和48年1月、石川県金沢市で開催された「南国土佐観光物産展」が縁となり、JR芦原温泉駅と土佐山田駅の姉妹駅提携をきっかけに昭和48年8月2日、三国町・芦原町・金津町と土佐山田町・香北町・物部村の姉妹都市締結調印式が旧土佐山田町役場で行われました。平成の大合併により芦原町・金津町はあわら市に、三国町は坂井市になりました。香美市としては合併協定に基づき、姉妹都市関係は継続中であるという認識でした。

香美市・あわら市 災害時相互応援協定
大規模な災害が発生した際に、被害を受けた協定市に対し、食料・飲料水・生活必需品等の提供や、職員の派遣を行う。

再調印へ
一方、あわら市は合併と同時に姉妹都市関係は解消されたという認識でしたが「先人の残した財産を大切にしよう」という想いで、姉妹都市関係を続けていく方向に進みました。
昨年9月13日には、あわら市で開催された「あわら北潟湖畔観月の夕べ」に香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会が香美市ブースを出店し、その際に今後の交流について協議した結果、姉妹都市締結を行うことになりました。
今後、風土の異なる両市の特性を生かし、市民・行政間の交流や文化・スポーツなどで両市民の交流を行っていく予定です。また、姉妹都市提携と同時に、災害時相互応援協定が締結されました。